

平成30年度事業計画

社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会

（事業方針）

平成 30 年度は介護保険法改正と報酬改定、障害福祉・診療報酬についても改定の年です。我が国における少子高齢多死社会に向かう現状は、地域・家庭・職場という人々の様々な領域で困難な課題を生じさせています。人生における様々な困難に直面した場合でも、お互いが配慮し存在を認め合い、誰もが役割を持ち、時に支え合い、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるよう、地域共生社会「我が事・丸ごと」の実現に向け、地域力を高める活動が求められています。

当社協の基本理念「みんなで支え合う心ふれあうやすらぎのまち」は「我が事・丸ごと支えあいのしくみづくり」を目指すことから始まります。地域の困りごとを取りこぼすことなく、個別の相談支援と地域支えあいの拡充を目指し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を中心として職域内の多職種連携により「笑顔の種まきプロジェクト」を継続していきます。相談機能の体制強化として再編された「柏原市障害者基幹相談支援センター」を受託いたします。また、権利擁護センター設置に向けた検討も進めていきます。

高齢者への支援としては、第7期柏原市高齢者いきいき元気計画（第7期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画）に基づき、包括的支援事業として、介護予防・日常生活支援総合事業の普及と拡大による地域づくりと要介護高齢者の重度化防止のケアマネジメント支援を実施し、地域包括ケアシステムを目指します。また、高齢者の在宅生活を支援するための生きがい・健康づくり活動、介護者支援活動も継続して実施します。

介護保険事業は、5ヵ年計画の第3期進捗管理、高齢者の情報共有ツール「ほのぼのサポートノート」の活用による利用者支援を継続していきます。障害福祉サービス事業では、『わくわく3事業』の一体化を図り、利用者が社会の一員として安心して暮らせるよう支援します。

当社協では、介護・障害福祉サービス事業は措置の時代を経て、介護保険制度開始以降、事業を運営してまいりました。しかし、事業収入の減少や介護人材の不足による安定した経営が厳しくなっております。よって、「介護・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会」（仮称）を設置し、経営的視点による内部・外部環境の把握と、幅広い視点で議論し、今後の事業の方向性を検討していきます。

主な内容は次のとおりです。

【重点目標】

1. 社協の基盤強化
2. 地域福祉活動の強化
3. 高齢者対策の強化
4. 災害対策の充実
5. 介護・障害福祉サービス事業のあり方検討（仮称）

【事業概要】

【総務課】

1. 法人組織運営

(1) 社会福祉法人制度改革に伴う法人運営の強化

理事・評議員会の適正運営

責務の明確化と会議の充実

業務内部監査や会計指導の実施による法人運営の透明性確保

(2) 自主財源の確保

市とのパートナーシップにもとづく補助・受託金の確保

応援者を増やす(会費、寄付金の増強)ための広報啓発

有料広告実施による広告料収入の確保

保有資産(基金、積立金)の適正活用

(3) 行政、その他関係機関との連携強化

(4) 広報啓発活動強化

ホームページ、社協かしわら（年2回発行）、フェイスブックを活用した広報啓発

社協イメージキャラクター「ほのぼのちゃん」の活用

(5) 組織管理体制の充実

利用者保護、リスクマネジメントの強化

相談・苦情窓口の強化による権利擁護体制の確立

安全衛生委員会による職場改善と職員の健康管理

(6) 災害対策の充実（法人全体での取り組み）

災害対策担当組織の再編・機能強化

「eコミュニティ・プラットフォームを活用した地域福祉活動支援モデル事業」の実施

(7) 安全衛生委員会の適正運営

(8) 柏原地区共同募金会の運営基盤の組織強化

共同募金協力型自動販売機設置の広報啓発

(9) 柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営

(10) 善意銀行・福祉基金の運営

【福祉推進課】

2. 「笑顔の種まきプロジェクト」の継続（くらしの相談係）（委託）

（1）個別支援活動からの支援体制づくり

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）のエリア別相談体制による
連携機能の強化

日常生活自立支援事業による権利擁護機能の強化

柏原市生活困窮者自立支援事業の拡充

柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制の強化（新設）

大阪府生活福祉資金貸付事業（府社協委託）

（2）小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援

地区単位の活動支援

ひとり暮らし老人の会・子育てサロン等の活動支援

友愛訪問事業・愛の一声訪問事業（共同募金）

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）等、相談機関との連携

「ほのぼのかたしも」の安定運営と機能拡充の支援

ケアカフェ・暮らしの保健室・みんなほのぼの食堂の継続

子どもの居場所づくりの具体化

「第30回柏原ふれあい広場」の実施

（3）多機関との連携協働事業

柏原市民間社会福祉施設連絡会（地域貢献委員会）事務局

要援護者食糧等分配支援事業による切れ目のない支援

関西福祉科学大学との協働事業

地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

「柏原市福祉・防災マップ」プロジェクトの参加協力

（4）社会資源の発掘活用支援

柏原市ボランティア・市民活動センターの充実（補助）

くらしのサポート・サービス事業の広報啓発と安定運営

かしわらファミリー・サポート・センター事業の顧客満足度の向上

点字広報等発行・点訳・朗読・要約筆記奉仕員養成講座の実施

（5）事務局機能の強化による団体活動の支援

柏原市民生・児童委員協議会

ボランティア連絡会

【高齢福祉課】

3. 地域包括支援センター（柏原市高齢者いきいき元気センター）（委託）

（1）介護予防ケアマネジメント業務

介護予防・日常生活支援総合事業の普及と拡大

「QOL 向上について多職種で検討する会議」の充実による自立支援型
ケアマネジメントの実践

(2) 総合相談支援事業

総合相談機能の強化

認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーターとの連携充実

地域包括支援センターブランチとの協力連携

(3) 権利擁護事業

成年後見制度についての周知啓発

高齢者虐待防止及び消費者被害防止の啓発・早期発見

(4) 継続的、包括的マネジメント業務

日常的個別指導・専門的相談対応によるケアマネジメント資質向上

多職種連携の充実による高齢者支援体制づくり

大阪介護支援専門員協会柏原支部事務局機能の充実

(5) 地域ケア会議の充実による個別課題の解決と地域課題の把握

個別ケア会議及び地域あんしん事業のエリア会議の活用

「いかしてネット」等の多職種連携会議による社会資源開発

4. 高齢者対策の強化（つながり支援係）（委託）

(1) 健康寿命の延伸

生活支援コーディネーターによる体制づくりの整備、啓発

地域介護予防推進員等の育成支援

いきいき百歳体操、地域介護予防サロンの充実による居場所づくり

「カフェほのぼの」の活動支援（共同募金）

(2) 認知症対策の強化

認知症総合支援事業の推進

認知症初期支援集中チームの啓発と支援活動の実施（新設）

(3) 介護者支援の充実

在宅高齢者・障がい者配食サービス

高齢者おむつ助成

障がい者おむつ使用助成（共同募金）

認知症家族介護者の会「カフェいどばた」の支援（共同募金）

(4) 団体活動の支援

柏原市老人クラブ連合会

【福祉事業課】

5. 「介護・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会」（仮称）の設置

安定した事業経営と社協の役割の明確化

6. 介護保険事業（自主事業）

- (1) 居宅介護支援事業所ケアプランかしわら、ケアプランこくぶ
関係機関との連携による地域に根ざした特定事業所確立
住宅改修や認定調査依頼に対する積極的対応
介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ
地域包括支援センターブランチ事業の充実
- (2) 訪問看護ステーションかしわら
関係機関との連携強化による利用者ニーズにあった在宅看護の提供
緊急時訪問看護加算算定に伴う 24 時間相談・対応体制の継続と中重度療養者の受け入れ
訪問看護の人材確保・利用者数増加につながるよう、訪問看護の啓発事業への参加
- (3) ヘルパーステーションかしわら、ヘルパーステーションこくぶ
地域に根ざした特定事業所として関係機関との連携強化
利用者ニーズに見合った適切な支援サービスの提供
生活意欲の向上や認知症予防に向けた自立支援の視点による援助

7. 障がい者支援事業（委託）

- (1) 療育事業
発達に弱さのある子どもたちの成長・発達促進
保護者の思いに寄り添った適切な支援
関係機関との連携強化による包括的支援の実施
- (2) 肢体不自由児訓練事業
嘱託医師、リハビリ専門職との連携による児や保護者のニーズに合わせた機能訓練の提供

8. 障害福祉サービス事業（自主事業）

- (1) 生活介護
利用者ニーズにもとづくサービスの見直し
ボランティアや職業体験の受け入れを通じた地域との交流
- (2) 児童発達支援
集団保育の充実
個別に対応したプログラムの作成、支援の実施を継続
- (3) 就労継続支援B型
個別性重視の支援計画にもとづく適切な支援
個々に合わせた作業を基本とした技能向上